



SURUGADAI
UNIVERSITY

駿河台大学 NEWS

発行

駿河台大学経営企画室

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 TEL.(042)972-1135
E-mail:sogokikaku@surugadai.ac.jp

2021年4月3日 No.227

逆境を乗り越え、 自身の力に



理事長 入江 孝信

新入生諸君、ご入学おめでとうございます。ご父母をはじめとするご家族の皆様におかれましては、ご子息、ご息女が本学へ進学されますことを心よりお喜び申し上げます。

駿河台大学は学校法人駿河台学園を母体とし、創立者であります山崎春之により、「情報化、国際化の時代を踏まえて、実社会に役立つ人材、グローバル社会で活躍できる人材等を育成する」ことを目標とし、1987(昭和62)年に創設されました。教育・研究及び社会貢献・地域貢献などに積極的に取り組み、建学の精神である「愛情教育」の理念のもと、学生一人ひとりの個性を最大限に尊重し、愛情教育の具現化に日々尽力しております。

2020(令和2)年は新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックにより、大学の在り方にも大きな変化がありました。本学でも学生の安全を第一に考え、オンライン授業を展開せざるを得ませんでした。今まで対面だった授業をオンライン化することは容易ではありませんでしたが、オンライン授業のメリットを最大限に活かし、日本から6,000キロ以上離れたスリランカの学生とアクティブラーニングを行うなど学生と教職員が一丸となってコロナ禍を乗り越えようと常に積極的な姿勢で邁進して参りました。

さらに、本学では学生の負担を軽減し、スムーズにオンライン授業に移行するために学部生及び大学院生に対して一律50,000円の緊急支援金を創設しました。これをきっかけに整備した環境は、今後普及していくと予測されるICT教育にも有効であると考えております。

このような変化の激しい時代においても、アフターコロナを見据え、新たな知識や技能を習得し、諸問題に取り組み、自主的に考えて実践していく力、更には行動をすることで解決する力を身に付ける必要性を踏まえ、学生諸君が立派な社会人として旅立てるよう、教育を通して自主的・自立的に考え、多様な他者と協働しながら自らの考えやアイデンティティを涵養し、国内外で活躍できる学生を輩出して参ります。

新入生諸君が今だからこそできる学びを通じて有意義で、希望に満ちた大学生活を送ることができるよう、役員、教職員一同惜しみない努力をして参ります。

本学関係者の皆様には、今後とも私どもの教育方針にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

さまざまな 学びの舞台や 仕組みを活用しよう



学長 大森 一宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。駿河台大学の教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

皆さんが受験生として過ごしてこられたこの1年間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がこの未知の脅威への対応をめぐって大きく揺れ動いた時期にあたります。先行きの見通せない状況の中であって、不安な気持ちで毎日を送っていた人もいるかもしれません。コロナ禍は、世界が常に不安定であり、先を見通すことが困難であることを示す象徴的な出来事でもありました。

こうした予測不可能な事態が展開する中で、大学に求められているのは、いつの時代にも通用する普遍的な能力を身につけた人材の育成です。様々な角度から物事を見つめ広い視野から筋道を立てて考える力、自ら行動を起こし柔軟に対応しながら粘り強く課題に取り組み目標を達成する力、相手の意図や置かれている状況を理解した上で自分の意見を適切に主張する力などは、時代を超えて求められる普遍的な能力です。本学では、これらの力を「駿大社会人基礎力」と称して、教育活動全体を通じて育成することにしてしています。

具体的には、ゼミ(演習授業)における教員によるきめ細かい指導、仕事をする力を身につけるための体系的なキャリア教育プログラム、「地域」を「学びと実践の場」と位置付け、広く社会に目を向ける機会を提供するアウトキャンパススタディ、世界各地における留学・語学研修の機会など、さまざまな学びの舞台や仕組みが、皆さんの前には準備されています。ぜひ、本学の用意した教育プログラムを積極的に活用して、自分を磨き、社会人として必要とされる基礎的な力を身につけてください。

さらに、今回のコロナ禍への対応の一環として、本学では遠隔での授業(オンライン授業)を本格的に導入しました。これにより、講義科目においても双方向型学習の利点を活かすなど、逆境をむしろ踏み台に変えるべく教育の質の向上に努めています。

こうした大学での学びの内容や方法は、高校とはずいぶん違い、戸惑う人もいると思います。また、大学生活になじむことに様々な不安があるかもしれません。何かあったら一人で悩まずに、本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。

私たち教職員は、皆さんの成長を願い、全力でサポートしていきます。4年後に、社会で活躍するのに十分な力を身につけた皆さんが、心から満足して本学を巣立っていかれることを願っています。

2021年度 教員役職者&新任教員紹介

教員役職者



学長
おおもり かずひろ
大森 一宏 教授



副学長
いとう まさみち
伊藤 雅道 教授



副学長
き い みつひろ
城井 光広 教授



副学長
こづか けんいちろう
狐塚 賢一郎 教授



副学長
ばく ちゃんみよん
朴 昌明 教授



心理学研究科長
かわべ ゆずる
川邊 譲 教授



総合政策研究科長
のだ ひろかず
野田 裕康 教授



法学部長
は せ がわ ひろかず
長谷川 裕寿 教授



経済経営学部長
さ がわ かずひろ
佐川 和彦 教授



メディア情報学部長
の むら まさひろ
野村 正弘 教授



スポーツ科学部長/現代文化学部長
よしの たかふ
吉野 貴順 教授



心理学部長
いwakuma しろう
岩熊 史朗 教授

新任教員



法学部
ささおか しんや
笹岡 伸矢 講師
(政治学・行政学)



法学部
ふくしま たいが
福島 大我 講師
(歴史学)



法学部
くろき みらい
黒木 美来 助教
(政治学)



法学部
ひらやま よういち
平山 陽一 助教
(民法)



経済経営学部
は ぶち たかし
羽濑 貴司 准教授
(経営学)



メディア情報学部
おのの しろう
大野 志郎 准教授
(映像メディア)



メディア情報学部
あおの しょうた
青野 正太 助教
(図書館情報学)



メディア情報学部
たかだ まさひろ
高田 昌裕 助教
(アニメーション制作)



スポーツ科学部
さかもと しずお
坂本 静男 特任教授
(スポーツ医学)



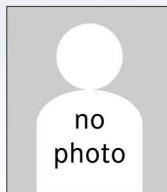
スポーツ科学部
がんどう ゆうこ
丸藤 祐子 准教授
(運動生理学)



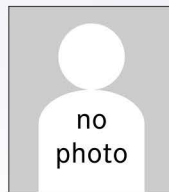
心理学部
ふじかけ ゆき
藤掛 友希 助教
(発達心理学)



グローバル教育センター
ディヘヴン ショーン
S.DeHaven 助教
(英語)



心理カウンセリングセンター
あら い
新居 みちる 助教
(臨床心理士有資格者)



心理カウンセリングセンター
ふみやま ちさ
文山 知紗 助手
(臨床心理士有資格者)

2020年度 寄付者ご芳名 (2020年2月~2021年1月)

本学へのご寄付につきましては、卒業生の皆様、ご父母の皆様、地域・企業の方々及び教職員より多くのご支援をいただいております。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。駿河台大学募金へのご協力に心より御礼申し上げます。

・教育振興資金

浅川 忠男 様	五十嵐 淳 様	市川 紀子 様
稲垣 由佳里 様	井上 知代美 様	内田 聡 様
大久保 貴予 様	岡田 育実 様	川島 有真 様
高塚 美保子 様	高橋 克典 様	田嶋 良亮 様
田中 勝善 様	長岡 裕子 様	中島 俊夫 様
松本 達也 様	松山 法友 様	森田 喜代美 様
山口 良文 様	横田 暢子 様	

竹井機器工業株式会社 様
長谷川体育施設株式会社関東支店 様
匿名希望者 様 12名

・駅伝部ほか運動部へのご寄付

池之上 忠教 様	磯 強 様	岡本 譲 様
小淵 明美 様	加藤 謙一 様	鈴木 隆広 様
高橋 幸法 様	竹井 秀夫 様	田中 弘行 様
中島 俊夫 様	野島 洋明 様	百鳥 光太 様
森 美由紀 様	森田 喜代美 様	良知 篤史 様

匿名希望者 様 8名

ご芳名は、五十音順に掲載させていただいております。

引き続き、本学へのご支援を随時受け付けております。本学の一層の充実と発展のために、寄付金募集の趣旨にご賛同賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

■インターネットによるお申込み

駿河台大学ホームページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/kifu/>

検索サイトを利用する場合は「駿河台大学 寄付」で検索してください。

◎特に支援したい運動部を指定して寄付することが可能です。

■振込用紙によるお申込み

電話 042-972-1191 (財務課 9:00~17:00 ※日曜祝日を除く)

メール zaimu@surugadai.ac.jp

ご氏名とご住所をお知らせください。専用の振込用紙をお送りいたします。

● 本学へのご寄付は、所得税制上の優遇措置を受けることができます。

● 確定申告を行うことで寄付金控除により減税となります。

詳細は、上記ホームページをご覧ください。

〈お問い合わせ先〉駿河台大学 財務課 042-972-1191

学生スタッフ紹介

新入生の皆さん、ようこそ駿河台大学へ。本学では、授業やイベント運営、広報活動など自分の「得意なこと」や「好き」を生かして多方面で活躍する学生スタッフがいます。皆さんも学生スタッフの一員として大学をサポートしてみませんか？

スポーツ好きにおすすめ 体育系授業 学生スタッフ

体育系授業のサポートや
体育系施設の管理補助をします

パソコンが得意、人と話すことが好き 情報系授業 学生スタッフ

スムーズな学習を行えるよう
情報系授業をサポートします

人と話すことが好き、駿河台大学が大好き オープンキャンパス 学生スタッフ

オープンキャンパスの運営をサポートします

本が好き、図書館が好き メディアセンター 図書館 学生スタッフ

本の配架、整理、選書など
図書館運営をサポートします

人と話すことが好き、地域の方と関わりたい 公開講座 学生スタッフ

受付や写真撮影など、公開講座の運営を
サポートします

学生スタッフって？

パソコンに詳しい、人に教えるのが得意 メディアセンター パソコン相談員

パソコン操作の相談や
イベント運営をします

カメラが好き、文章が好き、
クリエイティブなことがしたい

学生広報スタッフ

ホームページ用の画像・動画作成や大学
広報誌への寄稿など広報をサポートします

自分の就職活動の経験を 後輩に役立てたい キャリアセンター 就職活動アドバイザー

1～3年生の進路相談対応、就職行事等
の運営補助、学外企業説明会等への引率
補助、就職活動アドバイザーによる
就職支援イベント運営をします

外国人と交流したい、異文化に興味がある、日本が好き グローバル教育センター 留学生サポーター

提携校からの受入留学生が、日本での生活を順調に始められるようサポートします

学生スタッフにInterview

学生広報スタッフ

メディア情報学部3年 根岸 光
群馬県立伊勢崎清明高校出身



Q なぜ学生スタッフになろうと思ったのですか

一年生のときにインターンシップⅡでお世話になった先生に紹介してもらったことがきっかけです。自分で制作した作品が大学のホームページなどで紹介され、自分の実績や勉強になることに魅力を感じました。

Q 大学の授業では主にどのようなことを学んでいますか

映像関係のことを2つの観点から勉強をしています。1つ目は動画です。映像制作実習や映像編集技術論で撮影の方法や編集の種類などを学びました。2つ目は音響です。音響メディア論やサウンドデザイン論などで音の歴史や人に与える効果などを学びました。

Q コロナ禍だからこそチャレンジしたことや、これからやってみたいことはありますか

チャレンジしたことはHSKという中国語検定です。中国語授業を担当している先生に中国留学を進めていただき留学する予定でしたが、コロナ禍で行くことはできませんでした。そこで中国語を学びもっと知るために勉強して中国語検定2級まで取得しました。

Q 新入生の皆さんにメッセージをください

ご入学おめでとうございます。初めてのことで分らないことや困る事が沢山あると思います。しかし、そのまま放置してしまうのは絶対にNGです。ゼミの先生や先輩に相談し解決方法を見つけましょう。

パソコン相談員

法学部2年 平田 紳次
東京都立文京盲学校出身



Q なぜ学生スタッフになろうと思ったのですか

目が不自由だということもあり、日常では多くの人に助けてもらっていることから、社会の役に立ちたいという思いが強くなりました。パソコン相談員は、自分の特技を活かしながら社会の役に立つことができる活動のひとつだと思っています。

Q 大学の授業では主にどのようなことを学んでいますか

今は教養科目が多くを占めていますが、今後は六法を中心に、特に労働や福祉に関する科目を学びたいと思っています。

Q コロナ禍だからこそチャレンジしたことや、これからやってみたいことはありますか

コロナ禍によって多少できた自由時間を使い、司法試験のための自主ゼミを立ち上げてみたり、視覚障がい者福祉の向上を目的とした任意団体(いわゆるサークル)を盲学校の友人と立ち上げたり、司法書士試験の勉強をしたりと、自分の成長や社会貢献に関する活動に挑戦しています。

Q 新入生の皆さんにメッセージをください

皆さんの「やってみたいこと」は何ですか？やってみたいことがあるなら、小さなことでもいいのですぐにでもチャレンジしてみてください。大学生活はある意味自由です。いろんなことに挑戦し、自分の可能性を広げてみてください。

～Message for you～



小山講師

梅村准教授

「WITHコロナ AFTERコロナ時代に いかに大学生活を送るべきか」

キャリアセンター講師 小山知子

ご入学、おめでとうございます。コロナウイルスの影響で想像もしなかった暮らしが続く中、今日の日を迎えた皆さんに、どのような姿勢で大学生活を送っていったらよいのか、お伝えできればと思います。

「WITHコロナ」の現在、非対面の「オンラインコミュニケーション」が増えています。大学のオンライン授業でも、事前に伝達事項を読み、理解した上で課題に取り組むことが求められます。自分で考える、確認するという姿勢を大切にしてください。わからないことがあれば、遠慮せず担当教員に質問しましょう。その際には疑問点をまとめ、相手に伝わるように書くよう、努めてください。こうした一連の流れを習慣化できれば、オンライン授業、対面授業のどちらであっても学びやすくなり、社会で求められる「オンラインコミュニケーション」のスキルはどんどん向上します。学び、対人関係ともに良い循環が生まれますよ。

「AFTERコロナ」の時代には人の交流が活発になり、行動範囲が広がるでしょう。「WITHコロナ」時代にしっかりと授業を受け、「聞く」「書く」「話す」の3つの力を蓄えれば、自信を持ってさまざまなコミュニティに参加できると思います。そこには、行動の殻を破るようなチャレンジの機会が待っているのではないかと思います。

～チャンスは準備のできた者にだけ微笑む～ ぜひ「AFTERコロナ」の時代を見据えてこれから始まる大学生活を過ごしてください。

自分の「大いなる可能性」に 気づかないなんてもったいない

キャリアセンター准教授 梅村慶嗣

駿大のキャリア教育で皆さんに学んでほしいテーマはただ1つ。それは「自分の可能性なんてこれくらい」と決めつけないこと。言い換えれば自分の中に眠る「大いなる可能性」に早く気づいてその花を大きく咲かせることです。

誰にでも「本当はあの時こうしたいと思ったけどやらなかった」といった経験の1つや2つはあることでしょう。本当はこうしたかった、本当の自分はこうありたかった…。

心の中で思っているよりも、そんな自分の「本当の声」をかき消しているのは、「自分なんてこれくらい」と無意識で決めつけてしまっている他ならぬ自分自身だといえます。

皆さんの中には、自分が思っているよりもはるかに大きな可能性が眠っています。これは何回言っても言い足りないくらい間違いのない真実です。しかし、もったいないことにその可能性に気づかないまま大学生活を終え、社会に出て行ってしまう人が少なくありません。

自分の中に眠る可能性にいち早く気づき、自らが決めつけた狭い枠をとばし、なりたい自分に向かって前進する…。一見、自分独りで行うのは難しく感じるかもしれませんが、それをサポートするのがまさに駿大のキャリア教育なのです。「現在の自分」が思っているよりも、はるかに大きく成長した「4年後の自分」を楽しみに想像しながら、新しく入学した仲間たちと一緒に有意義な大学生活を送っていきましょう！

キャリアセンターを活用しよう！

キャリアセンターでは、入学から卒業までの4年間を通じて、就職活動の情報提供や就職ガイダンスの実施、公務員合格講座やキャリアカレッジ(資格取得講座)など、皆さんの進路選択や就職活動のトータルサポートを行っています。第二講義棟1階にあり、就職活動を行う3～4年生や大学院生だけでなく、1～2年生や卒業生もキャリアセンターを利用することができます。

就職活動全般の悩みはもちろん、「将来に対する言葉にできない不安や悩みの相談所」として、専任のアドバイザー(キャリアセンター職員)による個別面談を通し、ひとりひとりのコミュニケーションを大切にしながらより良い進路選択を支援しています。



面談スペース

専任のアドバイザーと個別面談を行うスペースです

オンライン講座

自分の都合の良い時間に何度も繰り返し学べる多彩な講座を開講します



パソコンエリア

求人票やインターンシップの情報検索に自由に活用してください

書籍コーナー

1週間に3冊まで貸出し可能です



公務員ガイダンス

公務員は、仕事内容、待遇、福利厚生、公共性・安定性からみても、大変魅力のある職業です。「公務員試験」に合格するためには、計画を立てて対策をとることが重要です。駿河台大学では、公務員講座を始め、公務員・資格試験学習室など、皆さんを合格へと導くプログラムを用意しています。

公務員に少しでも関心のある学生は、公務員ガイダンスに参加しましょう！ 本学の公務員支援制度や公務員講座の内容、公務員の仕事や試験概要、公務員受験生の心構えなどをお話しします。

資格取得講座

「キャリアカレッジ」ガイダンス

資格取得は就職活動の際に自分の武器になるだけでなく、学生生活をより充実させ、今後の自信にも繋げることができます！

在学中に資格取得にチャレンジしたいと思う学生は、「キャリアカレッジガイダンス」に参加しましょう。当日は各講座の担当講師がブースに分かれて資格の説明を行います。

- 宅建士(宅地建物取引士)
- リテールマーケティング(販売士)検定2級
- 日商簿記検定3級
- 秘書検定2級
- ITパスポート試験
- 経営学検定初級
- 保育士
- 3級ファイナンシャル・プランニング技能検定

ガイダンスの詳細や日時は、決定次第、ポータルサイトや学内掲示板などでお知らせします。両講座の詳細内容は、「資格取得講座キャリアカレッジ・公務員合格講座」パンフレットをご覧ください。パンフレットはキャリアセンターのホームページからご覧いただけます。

駿河台大学キャリアセンター

TEL:042-972-1131

Mail:syusyoku@surugadai.ac.jp

URL:https://www.surugadai.ac.jp/career/



メディアセンターより

from the Media Center

新入生の皆さんへ

メディアセンターでは、昨年度よりできる限りの感染症対策を施しながら開館を継続しています。マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・一部施設の利用制限など、ご協力をお願いしていますが、まずは気軽にお越しください。100台を超えるPC・ゆったりとした閲覧席・図書の企画展示も用意してお待ちしています。



データベースの利用について

メディアセンターでは、新聞記事・雑誌記事・法律情報などを検索できるデータベースを公開してきましたが、この春より次の2点が新たに加わるようになりました。

- ①SPORTDiscus with Full Text (専門分野:スポーツ学・スポーツ医療)
- ②Westlaw Next (専門分野:外国法・判例<英米法中心>)

いずれも内容は英文ですが、英単語1語から易しく検索できるデータベースですので、外国語による情報検索の経験がない方も気楽に使ってください。いずれもメディアセンターのホームページと、館内のデータベースコーナー(3階)でご利用いただけます。



●メディアセンターの最新情報を、ホームページで随時お知らせしています。感染症の流行状況により、開館日時・利用条件等を変更することもありますので、来館前に確認してください。

URL:https://www.surugadai.ac.jp/mediacenter/



第8回 駿大外国語プレゼン大会を動画投稿形式で実施しました

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、毎年12月に開催しているプレゼン大会を動画投稿形式に変更し、「私が本当に大切にしたいこと・もの」をテーマに、発表者を募集しました。広い会場で、観客と一体となって大会を行うことができなかったことは残念でしたが、動画ならではの趣向を凝らした作品が、3人の学生よりエントリーされました。

対面での指導が難しい中、エントリーした学生は、それぞれ教員とメールやZoomを使って、原稿の添削や発音指導を受け、とても素晴らしい作品を完成させました。

コロナ禍のオンライン授業や自粛生活の中、葛藤や不安を抱えながらも目標や希望を持って努力を続ける学生や、オンラインならではの交流手段で生活を充実させている学生のプレゼンは、多くの学生の共感を呼ぶことでしょう。

投稿された動画は、2021年7月28日(水)まで、Surugadai Univ.チャンネル(<https://www.youtube.com/user/SurugadaiUniv>)で視聴できます。ぜひ、ご覧ください!

表彰	発表者	学部・学年	発表テーマ(言語)	指導教員
技術賞	中島 勘太	経済経営学部 3年	Chat(英語) #Chat #discord	T.Rucynski 准教授
熱演賞	大阪 菜都子	メディア情報学部 1年	初心忘るべからず(フランス語) #図書館情報学 #フランス語学習	山下尚一 准教授
ユニーク賞	大島 丈典	メディア情報学部 1年	私が本当に大切にしたいこと(英語) #Hope #Believe #Pandemic#希望 #信じる #パンデミック	島原知大 講師

※学年はプレゼン大会開催当時の学年です。



2021 CHINESE BRIDGE ONLINE EXCHANGE PROGRAM AT LIAOCHENG UNIVERSITY／聊城大学(中国)に 本学の学生が参加しました ～意欲さえあれば突破できない難関はない!

今年の1月に、本学の長期留学協定校である中国・聊城大学から、オンライン授業の知らせを受けました。開講がちょうど本学の秋学期終了前後の忙しい時期に加え、登録を学生自身でやらなければならないことと、申込書類や手順を全部中国語の原文で読んで把握する必要がありました。開始まで時間がないこともあって、学生の参加は無理ではないかという思いが教員の脳裏を過りました。それでもせっかくの機会ですから、以前から留学志望の学生、梁瀬珠里さんに伝えました。意外にも「ぜひ参加します!」という返事がすぐに届き、自分で難なく申し込みの手続きを済ませました。

1週間のオンラインプログラムは、日本時間AM7:00~PM5:00まで毎日授業が行われました。内容は、中国語の発音、文法から中国文化の書道、絵画、音楽、京劇、武術の様々なジャンルにわたり、地元の山東省の風俗習慣や中国式健康術の紹介など盛りだくさん。修了式には世界中からの参加者と交流する時間も設けられました。

その後の展開はぜひ以下の彼女の体験記を読んでください。

葉紅 教授(グローバル教育センター)

語学は挑戦心が大切

現代文化学部3年 梁瀬 珠里

私は中国・聊城大学のオンラインプログラムを受講しました。今回のプログラムはリアルタイムと自分の好きな時間に見ることのできるレコーディング視聴の2つの授業形式でした。

リアルタイムの授業では、その場で質問をすることや問題を解く場面があり、プログラム受講前と比較すると単語数が格段に増えたと感じることができました。

またレコーディング授業では、中国語の発音や文法などの基本的な部分から、中国舞踊や中国音楽、聊城大学の歴史など、様々な角度から中国について学ぶことができました。特にネイティブの先生方に教わったことで、実際の話し方やスピード、発音などに慣れることができました。

短い期間のオンラインプログラムでしたが、受講してからテレビで流れてくる中国語や、街中で聞こえてくる中国語の音声聞き取れるようになってきたと感じています。また、授業によっては、課題が出されることがあったため、ただ単に聞いて学ぶのではなく、授業後も自分なりに調べること、より一層、深く学ぶことができました。

今回、中国語の基本的な部分だけでなく、歴史や文化など様々なことを学ぶことができ、とても刺激を受けました。そして、コロナ禍の中でも出来ることは沢山あるのだと改めて気づき、語学学習のモチベーションがさらに上がりました。今後もこのようなプログラムがありましたら、ぜひ利用したいと思います。



※写真は聊城大学提供。通常期のキャンパス風景で、本記事とは関係ありません。



2021 新入生特集

この春、駿河台大学へ入学してきたアスリートたち。
飛躍が期待される4名の新星にインタビューしました。

女子
ホッケー部

はしもと めい
スポーツ科学部1年 橋本 萌生 山形県立米沢商業高校出身
教職とホッケーの両立を

—あなたが現在行っているスポーツの種目・ポジションなどを教えてください
フィールドホッケーをしています。ポジションはミッドフィルダーです。

—なぜ駿河台大学を選びましたか

体育の教員免許の取得を目指しているため、スポーツ科学部では多角的にスポーツや教育を学べると思いました。また、ホッケーの面では日本リーグに出場できると思ったからです。

—ホッケーはいつ頃、どのようなきっかけで始めましたか

小学生の時にホッケーをやっていましたが、中学ではソフトボールに転向しました。しかし、3年の夏を迎える前に負けてしまいました。時間を持て余していたところでホッケーの練習に誘われ、中学最後の冬の全国大会に出場することができました。そこで勝つ喜びを覚え、高校ではホッケーをしたいと強く思い、再びホッケーを始めました。

—ホッケーの素晴らしさを一言で言い表すとすれば?

攻守の切り替わりの圧倒的なスピード感です。

—高校時代で最も心に残っている試合、場面は?

高校1年の時に経験した選抜ブロック予選です。選抜大会出場がかかった試合で、苦しい展開の中、自分がラストパスを出し得点へと結びつきました。自分がチームの勝利に貢献できて嬉しかったとともに自信になりました。

—大学での目標は何ですか?

教員免許の取得を目指して努力していきたいです。ホッケーでは日本リーグに出場して、得点を決めたいです。

—駿河台大学と一緒に入学する新入生に対して一言

大学生活1年目で不安なことだらけですが、楽しい学生生活を送れるようにお互い頑張りましょう!皆さんの輪が広まれば良いと思います。



陸上競技部

みやもと
スポーツ科学部1年 宮本 さくら 福井県立敦賀高校出身

100分の1秒で勝敗が決まる

—あなたが現在行っているスポーツの種目・ポジションなどを教えてください
陸上競技で400mです。

—なぜ駿河台大学を選びましたか

高校の顧問に勧められ、大学の練習に参加させていただきました。チームの雰囲気非常に魅力的で、この環境で練習することで今以上に強くなれると思い、駿河台大学への進学を決めました。

—陸上競技はいつ頃、どのようなきっかけで始めましたか

小学生の頃から走ることが好きで、当時の担任の先生に勧められたことがきっかけです。

—その種目の素晴らしさを一言で言い表すとすれば?

100分の1秒、1cmで勝敗が決まるところです。

—高校時代で最も心に残っている試合、場面は?

高校2年生の北信越総体400m決勝です。インターハイへの出場権を獲得できるレースだったので緊張しましたが、走る直前はなぜかワクワクしてきました。結果は、自己新記録で優勝でした。そのレースを応援してくれたチームメイトが自分のこのように喜んでくれたことが本当に嬉しくて、今でも鮮明に覚えています。

—大学での目標は何ですか?

全国大会等で活躍するに相応しい選手になることです。また、大学生活を通して様々な経験を積み、社会に必要とされる人物になることです。

—卒業後(進路)の目標があれば教えてください

スポーツトレーナーになることです。

—駿河台大学と一緒に入学する新入生に対して一言

駿河台大学で素敵な大学生活を送りましょう!! よろしくお祈りします!!



ラグビー部

えがわ ごう
法学部1年 江川 豪 北越高校出身
ノーサイドの精神

—あなたが現在行っているスポーツの種目・ポジションなどを教えてください
ラグビーでフォワードです。

—なぜ駿河台大学を選びましたか

駿河台大学のラグビー部の松尾勝博監督から声をかけてもらったことが大きなきっかけです。

—ラグビーはいつ頃、どのようなきっかけで始めましたか

高校1年生の時に先輩から誘われました。

—ラグビーの素晴らしさを一言で言い表すとすれば?

ノーサイドの精神です。

—高校時代で最も心に残っている試合、場面は?

2年生の春に行われた全国高校選抜大会で、貴重な得点となる1トライに関わったことです。相手ゴール前のラインアウトのモールに加わり、そこからトライにつなかりました。

—大学での目標は何ですか?

いち早く寮生活に慣れ、規則正しい生活をして、学習面に力を入れていきます。部活については、ラグビー部の2部昇格に貢献していきたいです。

—卒業後(進路)の目標があれば教えてください

消防士となって、地域貢献をしたいです。

—駿河台大学と一緒に入学する新入生に対して一言

互いに切磋琢磨していきましょう!



駅伝部

いけはら ゆづき
スポーツ科学部1年 池原 悠月 東京農工大学第二高校出身
弱さを痛感し、次に繋げる

—あなたが現在行っているスポーツの種目・ポジションなどを教えてください
陸上長距離の3000mSC(障害)です。

—あなたは、なぜ駿河台大学を選びましたか

将来、スポーツ支援をしたいと考えており、駿河台大学では、それに繋がる学びができると考えました。また、部活では、箱根駅伝出走と言う目標があり、練習環境や徳本一善監督の指導方針に惹かれました。

—長距離の素晴らしさを一言で言い表すとすれば?

決められた距離を誰よりも速く走ると言う単純でありながら簡単ではないことが、この競技の素晴らしさだと思います。

—高校時代で最も心に残っている試合、場面は?

高校3年生の秋の全国高等学校陸上競技大会2020の3000mSCです。初めての全国大会でした。緊張で体が固まり、コンディションも良くなく、高校のレースで1番ボロボロでした。自己ベストから17秒遅いタイムでした。このレースでは自分の弱さを痛感でき、次に繋がる結果となったので、最も心に残るレースでした。

—大学での目標は何ですか?

勉強ではこれからの将来と自分の夢に繋がる知識を身に付けることです。スポーツ面では箱根駅伝チーム初出場に貢献し、出走することです。インターカレッジで全国高等学校陸上競技大会2020のリベンジをしたいです。

—駿河台大学と一緒に入学する新入生に対して一言

これから新たなステージで、4年間という長いようであつという間に終わってしまうであろう時間を切磋琢磨し、夢に向かって邁進して後悔のない4年間にしていきたいです。



フィンランドの教育

「フィンランドの教育がすごい」と言われています。なぜなら2000年から始まり3年に1度行われる国際学習到達度調査(PISA)で、フィンランドは常に上位の成績を収めているからです。人口わずか550万人のフィンランドで、どのような教育がおこなわれているのでしょうか？

フィンランドの学習指導要領は、National Core Curriculumと呼ばれます。この中に明記される学校で育むべき「Transversal Competences」(直訳すると、広範囲的な能力)は、①考え方、学び方を学ぶこと、②文化的な能力、対話・交流と表現、③セルフケア、日常生活の管理、④マルチタスク、⑤ICTスキル、⑥働くための能力と起業家精神、⑦社会参加、持続可能な未来の構築、で構成されています。そしてこれらの能力の育成が、それぞれの学校現場で実践されているのです。

フィンランドの教員は皆、大学院の修士卒、教育の専門家です。国の共通カリキュラムに基づきながらも、各学校での裁量権が大きくあるので、先生方はそれぞれのスタイルで授業計画をします。そして、上記の能力の育成をしっかりと盛り込んだ授業をしています。

フィンランドは2学期制で授業日数は190日ほど、日本と比較すると年間で40日も少ないです。宿題もわずかです。詰め込み式の学習をさせるのではなく、子どもたちに余裕をもたせており、その中で個性を生かした学びの探究心を培っています。

フィンランドでは初等教育前のプレスクールから大学院まで、教育費が無償です。誰でもお金の心配をすることなく教育が受けられます。ほとんどの学校が公立であり、各学校間で優劣が生じないよう、均一のレベルを保つための制度も整えられています。

そして、学ぶことはいつでも可能です。もっと専門分野に磨きをかけたいとか、違う分野の仕事に就きたいと思えば、大学や専門学校に入り、スキルアップをすることができます。一度仕事を決めたらそこで人生が決まってしまう、というような考え方はなく、本当にやりたいことは何かを考え、チャレンジする機会があるのです。それも無償で、何度でも。2020年版「世界幸福度報告書」によると、3年連続でフィンランドは首位です。教育をはじめとする社会的支援や人生選択の自由度の充実がその大きな理由のひとつでしょう。

コロナ禍でオンライン教育が一気に進みました。世界が縮まり、フィンランドに限らず、いつでもどこでも何でも学べる環境になったといえます。学び続けること、これをするしかないかは自分次第です。



Karajokiの初等教育の教室



Ouluの学校の教室にて



無償の給食風景

健康 相談室

からだ
こころの救急箱
vol.36



カウンセラーのリレーコラム「大統領は既に逮捕されています」

2020年は新型コロナに明け暮れた1年でした。そしてどうやらその流れは今年もあまり変わらないようです。

手強かったのは新手的ウイルスだけではありません。フェイクニュースに代表される、真偽のわからない情報に振り回されることもまた「病」として、同じ位私達を苦しめたのではないのでしょうか。

この厄介な「病」はSNSなどを通じて人の心から心へと「感染」するようです。そして新型コロナと違い、現在までこの「病」に効くワクチンは見つかっていません。このコラムの奇妙なタイトルもSNSで見かけた、そうした「病」の1つです。

しかし、何がこの現象を引き起こすのかということは、次第に分かってきました。それは不安と孤立です。

例えば人は不安になると、十分に情報を吟味するよりも、自分の求める情報や聞きたい情報ばかりを集めたいくなります。

またこの「病」は他者と分断された状態でありその傾向が強まります。もし誰かと頻りに顔を合わせていれば、相手の反応が自分の目を覚ますかもしれないのですから。

とりあえず私達がこの「病」に対抗する手段は2つ。まず自分の「確信」を疑い続けるということ。特に自分のところに心地よく響く確信が生まれた時、それと相反する情報をあえて探し・触れるというひと手間がこれからはより重要です。

もう一つは直接・画面越しを問わず、誰かと繋がりを続けること。人生において孤独を避けることは確かに容易なことではないけれど、孤立を避けることは、今の時代なら不可能ではないはずです。

健康相談室 カウンセラー 小山雄一